

3-3 具体的な方策として…

- ・周辺の施設を含めた利用の拠点づくりをします。
- ・親水を目的とした公園整備をします。
- ・三峰川の水量を今よりも増やします。
- ・平成大橋から中州へ下りられる階段を整備します。
- ・治水の歴史公園の整備をします。
- ・三峰川を横断する通路を整備します。

などが考えられます。

ゾーン名 4.【伊那下流ゾーン】 (春近大橋付近から伊那市境付近まで)

4-1 ゾーンの特徴

- ・川の中に中州・河原・樹木が多いです。
- ・堤防にオオキンケイギク(黄色い花)が生えている場所があります。(6月頃)
- ・農業用水の取水堰が多いです。
- ・左岸側に霞堤(二重堤防?)があります。
- ・エリア内では、川幅が広いゾーンです。
- ・周辺は田園地域です。
- ・右岸側に国道があります。
- ・堤防道路はあまりありません。
- ・狩猟ができるゾーンです。
- ・樹木に鳥の巣が多く見られます。

4-2 整備・保全・利用の方針

- 1.周辺の土地利用(農地など)も含め、現状の自然環境を残していきます。
- 2.魚がそ上できる川にします。
- 3.川下りが楽しめる川にします。
- 4.天竜川らしい多様な自然を残していきます。
- 5.オオキンケイギクは一定の範囲内のみとします。
- 6.在来の植物で景観をつくってゆく努力をします。

4-3 具体的な方策として

- ・階段状の落差工を整備します。
- ・魚道を整備します。
- ・カーブが下れるような頭首工の形状(例えばラバー式)に変更します。
- ・頭首工を統合整備します。
- ・天竜川の在来の自然環境を流域住民に伝えていきます。
- ・オオキンケイギクに代わる天竜川の在来種を育てていきます。

などが考えられます。

ゾーン名 5.【伊那支川ゾーン】

(左右岸に注ぐ主な支川)

5-1 ゾーンの特徴

- ・天竜川へ注ぐ急流河川です。
- ・水量の変動が激しいです。(特に西側支川)
- ・水質が良いです。(西天排水口は汚い)
- ・親水性が高いです。
- ・現在、天竜川への土砂供給を砂防ダムで止めています。
- ・本川に比べて水害にあうことが多いゾーンです。
- ・西川(右岸)支川に観光地的なキャンプ場が多いです。

5-2 整備・保全・利用の方針

それぞれの支川の特徴を生かすことを前提に、次のような方針とします。

- 1.天竜川の水質を良くする支川にします。
- 2.洪水時の天竜川の負担を減らすような整備をします。
- 3.現状の利用施設の整備・拡充をします。
- 4.景観との調和に配慮した治水整備をします。
- 5.現状の河川および周辺の森林も含む河川環境を、維持・回復します。
- 6.自然な土砂の流れを保全・回復します。

5-3 具体的な方策として

- ・水辺へのアクセス道を整備します。
- ・利用拠点に駐車場を整備します。
- ・学校教育との関連性をもった活動を実践します。(除草、体験学習、西天の汚水と食文化のつながり等)
- ・小沢川、西天排水口に安全柵説明板を整備します。
- ・水辺のバリアフリー化を図る場所を設けます。
- ・飲める水の復活・維持を図るために利用者の意識を向上します。
- ・泳げる場所を整備します。
- ・天然湧水を利活用します。(例えば茶の湯(名水)利用)
- ・既存公園で、景観と調和する維持管理をします。
- ・森林の保全を進めます。
- ・地域にあった土砂対策を行います。

などが考えられます。

